

信州アディクションセミナー

第1回依存症困りごと相談会 報告書

2011年5月26日

信州アディクションセミナー実行委員会 事務局

下記のように依存症困りごと相談会を開催しましたので、報告します。

1. 日時、場所

2010年5月14日 13:00~17:00

松本市なんなんひろば(長野県松本市芳野4-1)3F大会議室

2. 参加人数

参加人数 65人 託児数 0人 アンケート回収数 21

3. 参加者のプロフィール

今回は県内の自助(相互援助)グループや団体の方に「相談を受ける側」としての参加をお願いしました。また一般からは広く「相談する側」としての参加を募りました。この両者の区別は明確ではありませんが、アンケートの提出の有無などを頼りに分類しました。

立場

相談を受ける側 42人

(断酒会・AA・アラノン・NA・GA・ギャマノン・ACODA・Peerful・ジョイフル、
信州アディクションセミナーのメンバーほか協力者)

相談をする側 23人

(アンケート回収数 21)

(以下はアンケートからの集計)

男女比

男性 19%、女性 81%。

年代

50代~70代が多く、そのほとんどが家族の立場でした。本人は20代~60代。

居所

開催地のある中信地方が48%。その他長野県内全域から24%。24%は県外から参加。

立場

本人が36%(ACも含む)、家族が59%。その他の参加はありませんでした。

種類

アディクションなどの種類を複数回答で尋ねました。多い順に、

AC 7・アルコール 6・薬物 5・摂食障害 5・ギャンブル 4・引きこもり 1・その他 2

でした。

認知機会

相談会の開催をどこで知ったか尋ねたところ、約 4 割が自助（相互援助）グループのメンバーに教えられたり、誘われたりしたものでした。その他は、医療機関・相談機関での紹介、家族に誘われて、ポスターや配布されたチラシ、新聞記事、ネットのホームページなど広範囲に少数ずつ分布していました。

4．効果

アンケートで相談会が役に立ったかどうか質問したところ、「役に立った」「少し役に立った」を合計すると 9 割の方に何らかの効果を感じていただけたようです。

普段同じ悩みを持った人に出会えない人からは、体験発表や分散会で同じ立場の人の話が聞く機会が持てたことが良かったという感想があり、また問題を乗り越えた（あるいは克服中の）本人の話が聞けたことが良かったとする感想もありました。

感想詳細については、別紙アンケート集計をご覧ください。

5．反省点

アンケートでは役に立ったという感想が多かったものの、メンバーが不慣れだったために効果的な対応ができなかったケースもありました。相談内容の深刻さに圧倒されてしまったり、複数の団体が一つの分散会に参加したために時間が有効に使えなかったりしました。

ギャンブルや引きこもりについては相談者がほかに比べて少なく、より広く広報をする必要を感じました。

6．当日実施内容

プログラム

体験発表実施団体（10分×7団体）

断酒会・AA・GA・ギャマノン・ACODA・Peerful・ジョイフル

分散会（90分）8グループに分散して相談会

アルコール・薬物・ギャンブル本人・ギャンブル家族・AC・摂食障害・引きこもり・事務局全体での質疑応答（15分）

今後の各グループのイベント案内

託児

保育の準備をしましたが、託児希望はありませんでした。

配布資料

当日チラシ 1 枚・アンケート用紙

長野県内の機関の案内

精神科医療機関一覧・保健所一覧・福祉事務所一覧

長野県内の自助グループ

AA、ACODA、アラノン、Amy、断酒会（長野県断酒連合会ほか）、GA、ギャマノン
Peer、Peerful

長野県内外の施設・団体

ジョイフル、ワンダーポート

7．報道

事前紹介記事が掲載されたもの

中日新聞長野版

イベント告知欄に掲載されたもの

信濃毎日新聞（2回）、市民タイムス、長野日報、毎日新聞、読売新聞、しんぶん赤旗

テレビ報道

未確認

当日の取材

ありませんでした。

8．実行委員会活動

実行委員会メンバー20人（含む事務局2人）

実行委員会開催

2010年10/24、11/28、12/26、2011年1/30、2/27、3/20、4/17（松本市西部公民館）

4/17はリハーサルと打ち合わせ（松本市なんなんひろば）

印刷作業 5/10（松本市市民活動サポートセンター）

9．謝辞

当日会場まで足を運んで下さった多くの皆様に感謝申し上げます。参加いただいた団体の皆様、資料提供をいただいた団体の皆様に感謝いたします。さまざまな医療機関、相談機関、行政機関、自助グループの方々、また信州アディクションセミナーを応援して下さる方が、広報に協力していただきました。またマスメディアの方々にもご協力をいただきました。それぞれに感謝申し上げます。

会場を提供して下さった松本市に感謝いたします。

今後、反省点を改善し、活動の幅を広げてまいりますので、皆様におかれましてはなにとぞ引き続きのご協力をお願いいたします。